

紹介患者様診療・検査事前予約ご利用のご案内

医療機関用 外来診療・検査事前予約 FAX予約

当院では、待ち時間を短く患者様が円滑に診療・検査を受けられるように、病院及び診療所の先生から『事前予約』をお受けしております。

●ご利用につきましては、以下の手続きへのご協力をお願い致します。

①「紹介患者様事前予約申込FAX用紙」に必要事項を記入し、地域医療連携室までFAXで送信してください。



②直ちに、予約をお取りし、「予約受付票」をFAXで送信します。ただし、受付時間外のFAXについては、翌営業日の朝にご連絡致します。



③患者様に以下をお渡しください。

- ・予約受付票
- ・診療情報提供書(紹介状)
- ・フィルム等



④ご来院時、患者様には以下をお持ちいただきます。

■先生から受取ったもの

- ・予約受付票
- ・診療情報提供書(紹介状)
- ・フィルム等

■別に必要なもの

- ・健康保険証
- ・お薬手帳又はお薬のわかるもの
- ・診察券



..... 予約受付先

●京都市立病院地域医療連携室

TEL (075)311-5311(代) (内線2113)

FAX (075)311-9862(専用)

●事前予約医療機関専用電話

(075)311-6348

事前予約受付時間(日曜・祝日を除く)

平 日/8:30~20:00(木曜日は17:00まで)

土曜日/8:30~12:00

FAXは、24時間お受けしています。

地域医療連携相談業務

平 日/8:30~17:00(月曜日~金曜日)

患者様用 紹介患者様事前予約センター 電話予約

当院では、先生からの紹介状があれば、患者様からのお電話で、ご自身のスケジュールに合わせた予約をお取りいただくことができます。

※担当医師の指定、検査の予約はできません。

●ご利用につきましては、以下の手続きへのご協力をお願い致します。

①お電話をされる前に、患者様には以下をお手元にご用意いただきます。

- ・事前予約申込票(必要事項記入済みのもの)
- ・診療情報提供書(紹介状)
- ・診察券 ※初診でもご予約可能です。



②患者様から『事前予約センター』へお電話いただきます。

専用電話番号 (075)311-6361



受付時間/月~金(9:00~17:00)

※土・日・祝・年末年始(12/29~1/3)を除く

●ご予約は前日17:00まで受付しております。

▶電話予約時に確認させていただく内容

- ・患者様のお名前(漢字・ヨミガナ)
- ・生年月日・性別
- ・ご連絡先(電話番号等)
- ・紹介元医療機関名・予約診療科



③ご来院時、患者様には以下をお持ちいただきます。

■先生から受け取ったもの

- ・事前予約受付票(必要事項記入済みのもの)
- ・診療情報提供書(紹介状)
- ・フィルム等

■別に必要なもの

- ・健康保険証
- ・お薬手帳又はお薬のわかるもの
- ・診察券

健康診断や人間ドック、各種検診で「要精密検査」となった場合でも、上記と同様の手続きで事前予約が可能です(初診でも予約可)。ぜひご利用ください。

※ただし、市立病院で人間ドックを受けられた場合は、健診センターでの予約となります。

専用の申込用紙は、京都市立病院のホームページからダウンロードが可能ですので、是非ご利用ください。



地方独立行政法人 京都市立病院機構
京都市立病院
地域医療連携室

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1-2
TEL 075-311-5311(代) FAX 075-311-9862
<http://www.kch-org.jp/>

京都市立病院

連携だより

vol.21
平成28年7月

- 脳神経外科部長兼脳卒中センター部長のあいさつ
- 私たちの大切な人を守るために
- 新地域医療連携室長のあいさつ
- 地域医療連携室のご紹介
- 紹介患者様診療・検査事前予約ご利用のご案内

京都市立病院機構理念

京都市立病院機構は

- 市民のいのちと健康を守ります
- 患者中心の最適な医療を提供します
- 地域と一体となって健康長寿のまちづくりに貢献します

京都市立病院憲章

- 1 質の高い安全な医療を提供するとともに、地域の医療水準の向上に貢献します。
- 2 患者の権利と尊厳を尊重し、心のこもった医療を提供します。
- 3 救急や災害時における地域に必要な医療を提供するとともに、地域住民の健康の維持・増進に貢献します。
- 4 病院運営に参画する事業者等とのパートナーシップを強め、健全な病院経営に努めます。
- 5 職員の育成に努め、職員が自信と誇りを持ち、全力で医療に従事できる職場環境を作ります。

脳神経外科部長兼脳卒中センター部長の あいさつ

平成28年7月1日付けで脳神経外科部長兼脳卒中センター部長を拝命致しました初田直樹です。平成2年に滋賀医科大学を卒業後、脳神経外科教



脳神経外科

室に入局し、大学病院、滋賀県内の病院、京都ではシミズ病院にて脳神経外科治療に従事してきました。平成19年から2年間村上記念病院にて血管内治療にも従事し、平成21年から近江八幡市立総合医療センター脳神経外科にて脳血管障害を中心とした脳神経外科治療を行ってまいりました。

急性期脳血管障害である脳卒中は、発症からの時間と治療のタイミングが非常に重要な要素を占めます。特に虚血性脳卒中の急性期は、病態にもよりますが、早期であれば治療手段がいくつか選択できます。もちろん治療には危険性も伴いますので、外科的もしくは血管内的な治療を加えるの





脳神経外科部長 初田 直樹

かを総合的に判断・加療していきます。早期の脳卒中は、診断が困難な症例もございますので、脳卒中を疑われたらご紹介いただければ幸いと存じます。

非急性期脳血管障害の未破裂脳動脈瘤や頸動脈高度狭窄といった血管内治療と外科的治療の両方の治療手段がある疾患に対しても、疾患の程度や状態、患者の状態や希望に応じて治療を行っていく所存です。

脳卒中センターでは、脳神経外科と神経内科との合同での診療を行ってまいります。従来通り、急性期はもちろんのこと予防的加療を含めた総合的な脳卒中センターを目指したいと存じます。観血的な治療だけではなく、その後の薬物治療、理

専門

脳神経外科全般 脳卒中

資格

日本脳神経外科学会専門医

日本脳卒中学会専門医

日本脳神経血管内治療学会専門医

日本神経内視鏡学会神経内視鏡技術認定医

日本医師会認定産業医

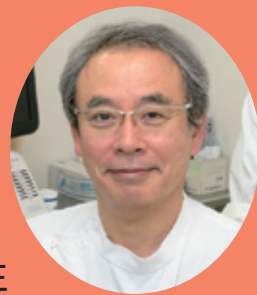
学療法をはじめとしたリハビリ加療も重要で、集約的なセンターにしていきたいと考えております。

今後ともご指導、ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。



脳卒中センター

私たちの大切な人を守るために



乳腺外科部長
森口 喜生

はじめに

乳がんは女性の「がん」の中では最も多く、2015年には約9万人が新たに乳がんと診断されると予想されています。早期に発見され適切な治療が行われれば、治療成績は良好ですが、現在でも毎年1万人以上の方が乳がん

で亡くなられています。乳がん診療の一翼を担う施設として治療成績の向上に努めてまいります。

基本診療方針

「エビデンス（科学的根拠）に基づいた最新・最良の治療」と「チーム治療」、そして「ひとりひとりの患者様に最善の治療」を行うことを基本方針としています。

当院では「乳腺外科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、形成外科、乳がん看護認定看護師、放射線治療認定看護師、がん看護専門看護師、病棟看護師、薬剤師、医療社会福祉士」など多くの職種の専門家が、「ひとりひとりの患者様を支えるチーム」となり、定期的カンファレンス（検討会）を通じて、最適・最良な診断、治療、療養を行えるよう一丸となり患者様を支えます。乳腺の診療に関しては、どうぞ当科へご相談ください。

医師紹介

部長 森口 喜生 乳腺外科

日本乳癌学会乳腺専門医・指導医、日本乳癌学会評議員、
日本外科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構暫定教育医

医員 吉岡 祥子 乳腺外科

検診マンモグラフィー読影認定医、超音波検査認定医

専攻医 太田 知佳 乳腺外科

検診マンモグラフィー読影認定医



外来について

当科のスタッフは3名で、その内2名は女性スタッフです。別表の通り火曜日を除き毎日診療を行っております。マンモグラフィー、乳腺超音波検査を行う技師は全て女性のスタッフです。

市民検診、ドックなどで乳房の異常を指摘され精密検査が必要と言われた方はもちろん、乳腺に症状のある方で初めて当科を受診される方も、紹介状が無くても予約センター（075-311-6361）にお電話を

	診察室	月	火	水	木	金
午前	8診	森口	×	森口	担当医	森口
	9診	吉岡	×	太田	×	吉岡
午後	8診	森口	×	森口	×	太田
	9診	吉岡	×	太田	×	吉岡

※ は女性医師です

いただければ初診の診察の予約を入れることができますのでどうぞご利用ください。また医療機関からご紹介いただく場合は、地域医療連携室 (075-311-6348) にご

乳がんの検査について

マンモグラフィー、乳腺超音波検査、乳房MRI、PET-CT、CT、骨シンチなどの画像検査を症例に応じて行っています。また画像検査で悪性病変が疑われるような場合には、吸引組織診（エコー下またはステレオガイド下）等

連絡いただき予約をお願いします。



の生検を行い、乳がんの場合は、病理診断、サブタイプをもとに治療方針を決定しております。

乳がんの治療について

1. 手術

現在の標準的な術式は、乳房部分切除術または胸筋温存乳房切除術です。これに加えて腋窩リンパ節に対してセンチネルリンパ節生検または腋窩リンパ節郭清が行われます。腫瘍の大きさ、拡がり、リンパ節転移の有無、患者様のご希望などを含め詳細な検討の上、術式を決定します。また乳房再建術も積極的に行っており施行例は年々増加しております。形成外科専門医と連携して穿通枝皮弁や広背筋皮弁などの自家組織を用いた乳房再建術やティッシュエキスパンダーを用いた人工乳房による再建術を行っています。また乳房切除術後の乳房再建術（2次再建術）についても行っていますので、詳細は担当医に相談ください。

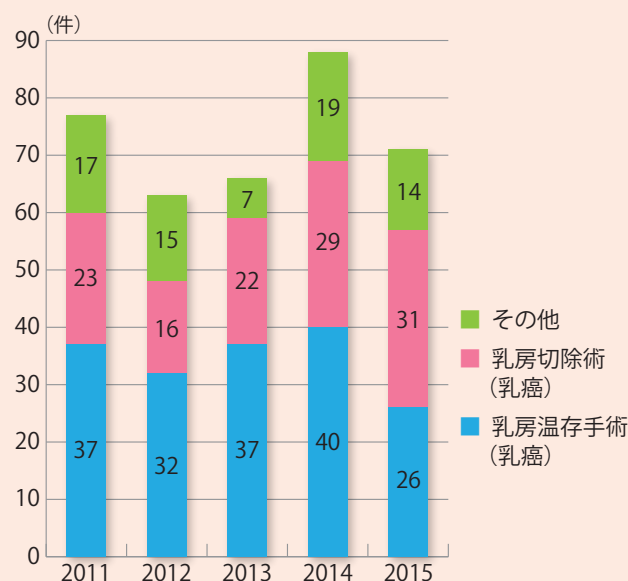
2. 薬物療法

ガイドラインに基づき、術前療法、術後補助療法、転移再発治療として、化学療法、分子標的治療、ホルモン療法等の薬物療法を行っています。化学療法は外来化学療法センターで、腫瘍内科医、がん専門薬剤師、化学療法認定看護師などによる厳重な管理のもと施行しています。

3. 放射線治療

乳房温存手術後は原則的に全例で、そして乳房切除術

後でも進行した症例の場合には術後放射線治療を行います。治療は外来通院で行いますが温存乳房の場合、基本的に25回から30回（1日1回）の治療ですので5週間から6週間かかります。治療時間の予約、寡分割照射（治療回数を減らした治療）については放射線治療科でご相談ください。また骨転移、リンパ節転移、脳転移、肝臓転移などの再発転移の場合にも放射線治療科と連携して放射線治療を行います。

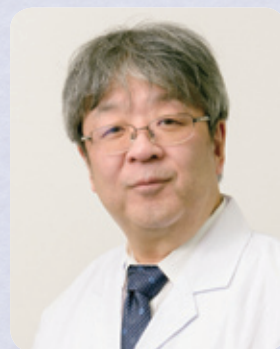


京都市立病院 乳がん患者会「ビスケットの会」について

乳がんで治療された方々の情報交換や、医療者などからの情報提供などを通じて少しでも患者様やご家族のお役に立つことを目的に、平成22年11月27日に京都市立病院乳がん患者会『ビスケットの会』が発足しました。会の名称は公募にて決定しました。微力ながら互いに人

を助けるとの意味を込めて「微助人」、これを「ビスケットの会」としたのが由来です。年3回の定例会（3月、4月、11月）では様々な講師の方をお招きして講演会を行っています。そして年3回の会報の発行・郵送などを行っています。どうぞお気軽にご参加、ご入会ください。

新地域医療連携室長のあいさつ



副院長・地域医療連携室長 森 一 樹

この度、4月18日付けで地域医療連携室長に就任いたしました。日頃は、当院の地域医療連携業務にご協力を賜り、誠にありがとうございます。当院にご紹介いただく患者様は増加の一途をたどり、6月は初めて1,000名を超えました。これも皆さまの信頼のおかげと心からの感謝を申し上げます。

さて、本年4月に患者様をご紹介いただいている先生方へのアンケート調査を実施いたしました。暖かい励ましのお言葉とともに、いくつかの厳しいご意見もいただきました。これらのご意見をもとに、本年度は、「①急な対応を要する患者様への円滑な対応 ②予約待ち期間の短縮 ③入院となった紹介患者様の丁寧な情報提供」などを重点目標として取り組んでまいります。

また、紹介患者様の受け入れとともに、入院患者様を安心して在宅療養につなげていくことも大きな課題です。今年度から、榎木前室長に相談支援部門に専任していただき、MSW1名の増員、看護師2名の新たな配置を行うとともに、訪問看護ステーションとの相互研修を開始するなど、後方連携部門の強化を行いました。

よりよい地域の医療・福祉を創るため、新たな体制で取り組んでまいりますので、皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。

地域医療連携室のご紹介

地域医療連携室は、基本方針である「患者・家族に密着した支援を行い、病院と地域をつなぎ、切れ目のないサービスの提供に貢献します」を実現するため、地域医療ネットワークの構築を図り、病院・診療所の先生方をはじめ、医療、保健、福祉に携わる皆様との連携を推し進めております。

また、今年度からは、より一層患者様中心の医療サービスが提供できるよう地域との連携を充実させるため、前方連携、後方連携の機能・体制をともに強化し、地域医療連携室長(医師)、医療連携担当課長(事務職)、相談支援担当課長(保健師)、医療連携担当係長(事務職)、相談支援担当係長(看護師)、MSW(9名)、看護師(2名)、保健師、事務職、委託職員で業務に取り組んでいます。

当院への受診・検査予約、転院・退院調整、各種相談等、お気軽にご相談くださいますようお願いいたします。



【紹介患者様受診・検査事前予約受付時間】

平 日／8：30～20：00（木曜日は17：00まで） TEL 075-311-6348（専用）
土曜日／8：30～12：00 FAX 075-311-9862（専用）

【地域医療連携相談業務受付時間】

平日のみ／8：30～17：00（月～金曜日） TEL 075-311-5311（代表）
FAX 075-311-9862（専用）

地域医療連携室の主な業務

紹介患者様受診及び検査事前予約受付

地域の医療機関の先生方からご紹介いただく患者様は、最優先で診療・検査を行っています。ご紹介いただいた患者様が短い待ち時間で円滑に診療・検査を受けていただけるように、「事前予約」をお受けしております。

転院調整・退院支援

地域の医療機関の先生方からの転院のご依頼については、診療情報提供書をいただき、各診療科と相談のうえ、日時や転院方法の調整をしております。

入院患者様が退院後も途切れることなく適切な療養生活を送れるように、医師・看護師・MSWなど多職種で協力して退院支援を行っています。入院初期から多職種でカンファレンスを実施することにより、患者・家族の状況を把握し、安心して療養できるように退院支援に取り組んでいます。必要に応じて、入院時カンファレンス・退院前カンファレンスなどを実施し、患者・家族の思いを聞きながら、退院後の計画を説明し、患者様を支える医療が途切れることなく継続できるよう支援しています。

また、地域連携パスの運用にも取り組んでいます。

各種相談業務

患者・家族が安心して治療、療養できるように、各種相談業務を行っています。医療費等の経済相談、各種社会保障制度や手続き方法の情報提供を行い、支援しています。

また、「がん相談支援センター」を併設し、がん治療に係る様々な相談に応じるとともに、がん患者・家族のサロン「みぶなの会」を開催し、患者同士の交流、学習会の開催、会報誌の発行を通して、がんに関する情報提供の機会を設けています。

地域医療の充実

医療福祉関係者対象の「地域医療フォーラム」、登録医対象の「みぶ病診連携カンファレンス（症例検討、診療機能の紹介等）」、市民対象の健康教室「かがやき」を定期的で開催するとともに、地域において「出前講座」を積極的に実施し、地域医療の充実、市民の健康の保持増進に寄与しています。

また、京都市国民健康保険の特定保健指導も担当しており、メタボリックシンドローム予防を目指した6ヶ月間の保健指導も実施しています。